

マルト RK-02 による泥除け付き自転車の輸送方法



マルト RK-02 【価格】 ¥5,200- (税抜)

マルト RK-02 輸送袋は「直感的に収納しやすい」「誰でも簡単」と紹介されていますが、様々な媒体で出てくるサンプルの自転車は全てロードレーサーやクロスバイクばかり

泥除け付きのツーリングバイクではどうなのでしょう？

チョット検証してみました

色々と試してみましたが、結果**ツーリングバイクに最も適している輸送袋**と言えます！

丸石・ツーリングマスターを使用して2種類の輸送方法をご紹介します

1 種類目は、前後ホイールと後分割泥除けを外す方法

エアロタイプブレーキレバー（STIやエルゴ含む）をご使用の方にオススメです、比較的モダンなツーリングバイクでも後泥除けさえ分割式にすれば簡単に作業出来ます



1・展示品の為、ペダルは装着していませんが、外す必要はありません

2・ブレーキワイヤーを外します STI レバー等の場合は必要
ありません



3・後ろ泥除けの分割部を外します

4・付属のベルトでハンドルとシートピラーを固定します





5・ギアをアウターx トップにします



6・前後ホイールを外します

7・チェーンをフレームのチェーンフックに
引っ掛けます



8・後泥除けをホイールに沿わせてステーをスポークの中へ
差します



9・自転車を裏返し、ホイールに沿わせて付属ベルトで固定しま
す

10・付属ベルトは華奢なので、他社製品に交換した方
良さそう





11・広げた袋の上に乗せて、左右からチャックを締めます



12・完成!!

如何ですか？

この方法なら、リアディレーラーへの負担も無く、前泥除けはそのまま OK、STI レバーやサイドプルブレーキでも気にすることなく、収納することが出来ます

もし、床面積が広くて気になるという方でも、リアエンドにエンド金具を装着しておけば、縦方向に置いておくことも可能です
正に万能ですネ

2種類目はフォーク抜き輸送方法で、後ろ泥除けを分割にしないタイプ

分割式泥除けが人気の昨今ですが、分割泥除けは構造上どうしてもプレーンタイプに比べて強度が落ちてしまい、割れやすくなってしまったり、ギシギシと音鳴りがしてしまったりと、良いことばかりではありません

輸送は頻繁にするけれど、後ろ泥除けは分割式にたくないという方にオススメです

また、作業上ハンドルバーを外す必要がありますので、STIレバーやエアロタイプブレーキレバーを使用する場合にはフレームが対応していないといけませんので、確認や改造が必要です

ご注意ください

キャンプなどで、前後に大型キャリアを装備している場合でもキャリアを外すことなく輸送が出来ますので、荷物が多い方にもオススメ出来ます

それでは、作業してみましょう



1・展示品の為、ペダルは装着していませんが、外す必要はありません



2・ブレーキワイヤーを外します



3・ステム固定ボルトを緩めてハンドル・ステムを抜きます

4・ヘッドパーツを工具で緩めて上部分を全て外します



5・フロントフォークを抜き取ります

6・外した前部分とハンドルをフレームに沿わせます



7・袋を広げて自転車を上に置き、ジッパーを締めます



8・完成!!

この方法は前回の方法に比べて安定感がありませんので自立しませんし、リアキャリア装着の場合はひっくり返して作業した方が安定して収納することが出来ます

また、付属の固定バンドではフロントフォークの重量を支え切る事が出来ませんので、他社のストラップを併用する必要があります

その為、万人向きという訳ではありませんが、泥除けが分割式でないアラヤ・スワローやツーリストをストックのまま輸行したい方やリアキャリアを装備している方に良い方法だと思います

以上、ご紹介の2種の輸行方法さえ出来れば、殆どのツーリングバイクが収納出来ると思います

近年は昔ながらの「なるべく小さく収納」という考え方よりも「なるべく簡単に収納」と考えている方が多い様ですので、マルト・RK-02は重宝する輸行袋だと思います

是非、ご活用くださいませ